

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

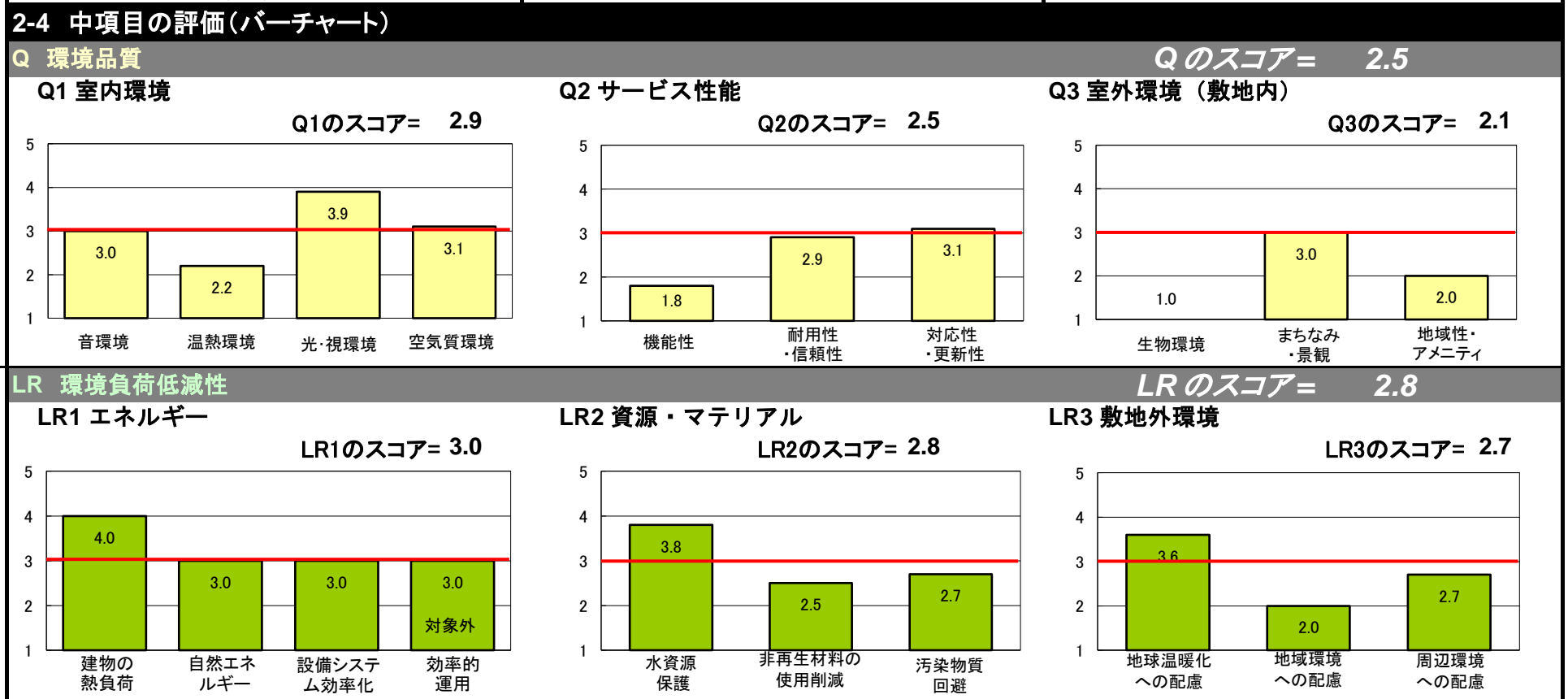
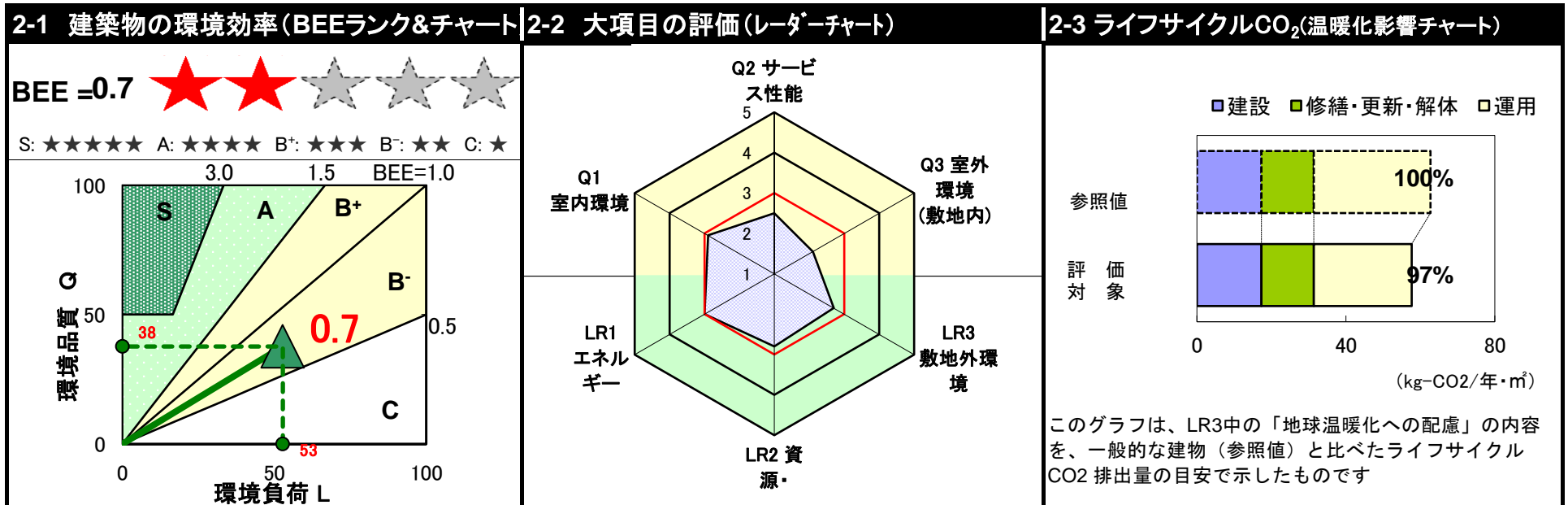
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島BAP A地区屋内練習場	階数	3
建設地	広島市南区西蟹屋町三丁目329-26	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、商業地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	集会所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年3月25日
敷地面積	6,242 m ²	作成者	水永 徹馬
建築面積	4,342 m ²	確認日	2014年3月26日
延床面積	4,994 m ²	確認者	水永 徹馬

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.0	スコア = 1.3	スコア = 2.9
設計の計画上特段に配慮した事項 断熱性が高い / / / / /	設計の計画上特段に配慮した事項 / 高効率機器の採用によるCO ₂ 削減及び駐車場の適正スペース	設計の計画上特段に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される